曽我小学校 学校だより

曽我小ホームページ http://www.ed.city.odawara.kanagawa.jp/soga_s/

【 10 月 号 】 令和7年10月16日 小田原市立曽我小学校 発行者 松嶋 淳一 TL 42-2278

🧩 どろんこ田 ~ 竿運び ~

9月16日(火)、4・5年生が「竿(さお)運び」をしました。校舎の北側に置いてある長い竹竿とそれを支える三脚を、どろんこ田まで何往復もしながら運びました。これは、稲刈りをした後に稲束をすぐに干せるよう、物干し場のような台を組んでおくための大切な作業です。

まだ夏の日差しの残る午後でしたが、わずか30分間ほどで、竹竿20本近くと三脚40本近くをあっという間に運んでいました。暑さをものともせずに黙々と運ぶ姿に、頼もしさを感じました。

放課後には職員が組み立てて、たくさんの稲束が 干せるように、準備を整えました。





どろんこ田 ~ 稲刈り ~

9月19日(金)、前夜の大雨が蒸し暑かった空気を洗い流してくれたおかげで、涼しい秋の空気の中、熱中症の心配をすることなく稲刈りができました。本校にとっては運動会等と並ぶ、とても大切な全校での活動です。

1時限目に5年生が、2時限目に4年生が、3時限目に6年生が行いました。 $1\sim3$ 年生も、4時限目に落穂ひろいとして参加しました。

今年初めて稲刈りに参加する4年生は、疲れたと言いながらも、「けっこう、おもしろいかも。」と、鎌で刈り取るザクッ、ザクッという感触を楽しんでいる様子でした。

今年も多くのボランティアの方々・地域の方々に ご協力をいただきました。子供たちが刈り取った稲 を手際よく東ねたり、稲干し台にかけていただいた りしました。朝早くから、半日にわたって大変な作 業をお手伝いいただき、本当にありがとうございま した。

















👺 どろんこ田 ~ 脱穀 ~

9月30日(火)、前夜の雨の影響が心配でしたが、午前中に日差しが出て稲を乾かしてくれたので、 予定通り、午後から脱穀を行いました。

5年生 \rightarrow 4年生 \rightarrow 6年生の順に、交代しながら稲東を脱穀機まで運びました。 $1\sim$ 3年生も、脱穀後の稲穂に実がついていないか確認し、見つけるとハサミで丁寧に切り取って集めていました。

今回も、スクールボランティアの保護者のみなさまをはじめ地域の方々にご協力をいただき、無事に行うことができました。ありがとうございました。

こうした取り組みは、子供たちの心の奥底に、楽 しかった思い出として、ずっと残っていくことと思 います。貴重な体験にご協力いただき、誠にありが とうございました。



















なかよし班あそび

9月17日(水)のなかよし班あそびは全校児童が集まって行う予定でしたが、まだまだ猛暑だったので、熱中症対策のため4つの班に分かれて、エアコンの効いた室内であそびました。

「いすとりゲーム」「なんでもバスケット」「かごめかごめ」など、それぞれの班が、どの学年も楽しく遊べるよう工夫を凝らして異学年交流を楽しんでいました。









本校の児童は全校で 61 名。 4 つの班に分かれる と 1 グループ 15 名程度。家族というか兄弟姉妹の ような雰囲気で、どの教室でも笑顔がいっぱい見られました。平和で穏やかな時間が流れていました。



運動会に向けて

10月18日(土)に、運動会が予定されています。 子供たちはそれぞれの自分が任された担当の準備(ダンス担当の児童はダンスの練習を、応援団の児童は応援の練習を、準備体操担当の児童は準備体操の練習など)を始めました。

運動会という行事は、その日一日だけの活動ではなく、こうした準備段階を含めた一連の活動に意義があります。子供たちにとって成長できる貴重な機会となることを願っています。











前期•終業式

4月から始まった令和7年度も早いもので半分が終わり、10月10日(金)に前期の終業式を行いました。児童代表の言葉のあと、私からは「振り返りの大切さ」について子供たちに伝えました。

活動を行うたびに、ひとつひとつ丁寧に振り返りをし、うまくいかなかった要因があるのならば、それを次に生かすよう心掛けていく。そうすれば、おのずと行動や生活自体がブラッシュアップされ、強いては人として大きく成長することができます。

後期は運動会をはじめ、多くの行事・イベントが あります。前期をしっかりと振り返って、残り半年 を更なる成長の機会としてほしいと願っています。

保護者や地域の方々には、様々な場面で大変お世話になりました。大きな事故や怪我がなく教育活動を行えたのも、皆様のご支援とご協力のおかげです。誠にありがとうございました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

後期も、何卒よろしくお願い申し上げます。